

漁海況情報第3報 (2012年6月8日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

仙台湾では表面水温が平年よりも高めとなっています。141° 30' E 以東では南下した冷水の影響を受け、表面及び100m深とも0°Cから2°C低めとなっています。

宮城県沿岸の表面水温は13~19°Cとなっています。141° 30' E以西の浅海域は、先月よりも3~6°C昇温し、平年よりも1~2°C高くなっています。一方、141° 30' E以東の海域では冷水の南下により先月より降温して、平年より0~2°C低めとなっています。

100m 深水温については、4~8°C台となっています。冷水の南下の影響が表面よりも強く現れており、38° 30' N ラインの142° E~142° 10' E 付近では平年並みですが、142° E以西では平年より1°C低め、142° 10' E以東では平年より1~3°C低くなっています [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

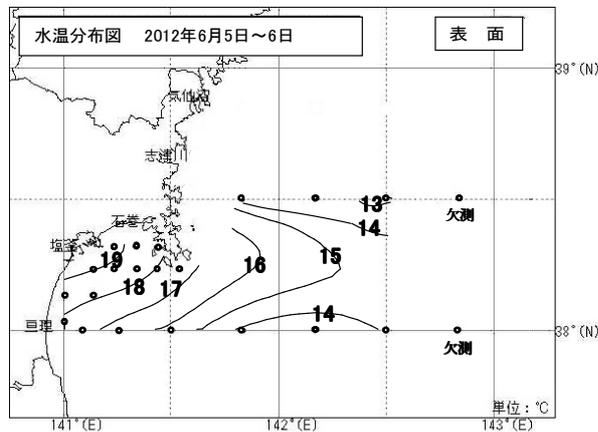
水温鉛直断面図をみると、冷水が沖合側から沿岸側に波及していることがわかります [P2.水温鉛直断面図]。

漁業情報サービスセンター配信の東北海域漁海況情報からも岩手県から宮城県沿岸にかけて冷水が南下していることがわかります [P2.東北海域の海況図：(社)漁業情報サービスセンター]。

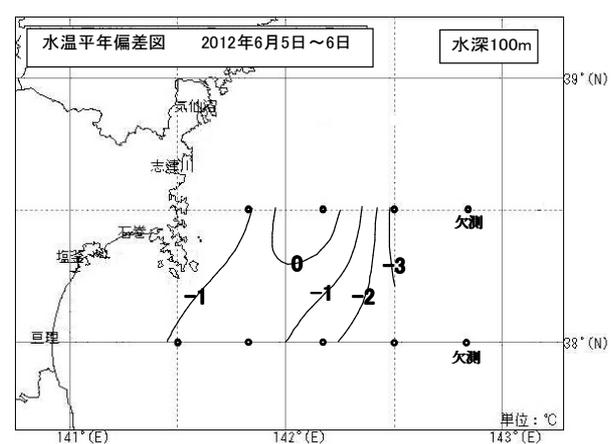
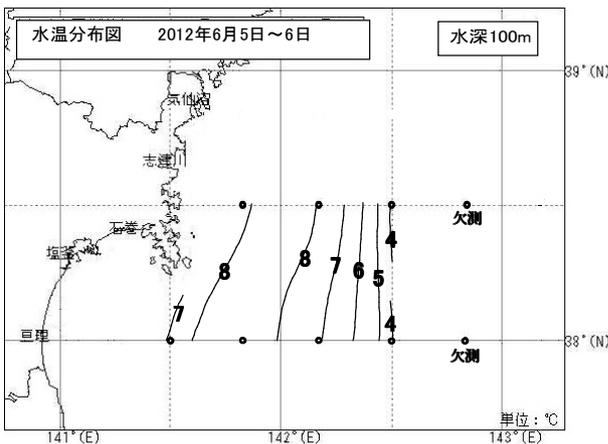
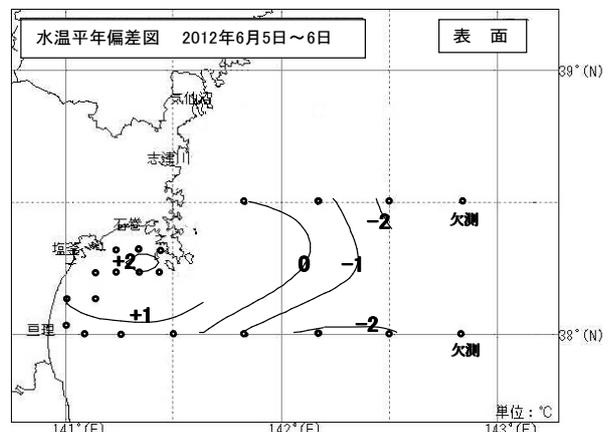
6月上旬の定地水温は、岩井崎と佐須浜の水温は高め、江島は平年並みとなっています。 [P2.定地海洋観測結果]

底層水温については、仙台湾では8~11°C台となっています。 [P3. 底層水温図]

・水温水平分布図



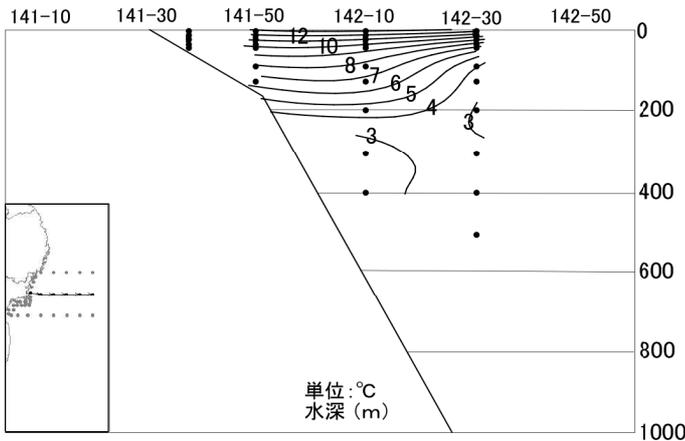
・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)



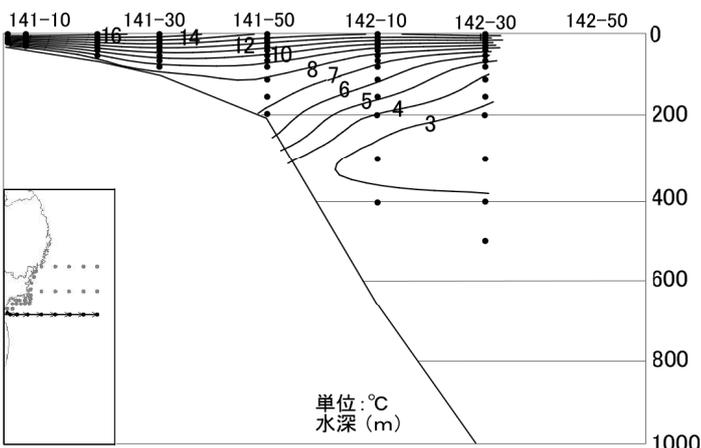
※ 観測は拓洋丸と翠皓 (東北大学から借用) が実施しました。

・水温鉛直断面図

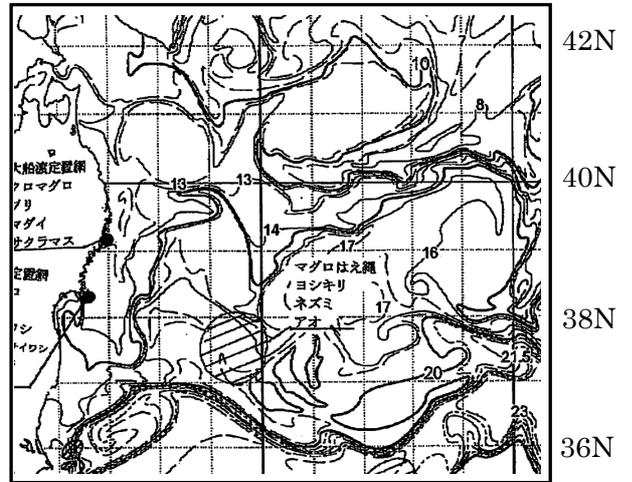
38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)



38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



・2012年6月4日の東北海域の海況(表面水温)
(社) 漁業情報サービスセンター

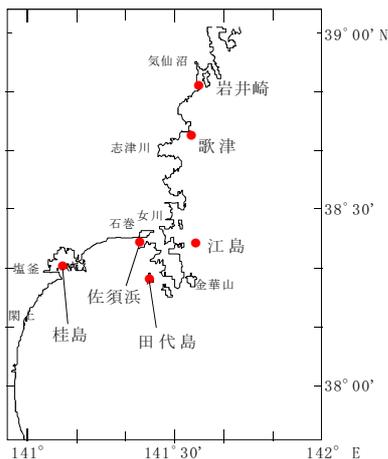


141E 143E 145E 147E 149E

特記事項 (社) 漁業情報サービスセンター

- ・冷水が引き続き三陸沖と仙台湾沖を常磐沖に南下しているものの、黒潮続流は鹿島灘沖で37° Nに達し、北上を強めている。
- ・仙台湾は14~16°C台。
- ・金華山以北の宮城~岩手県南部沿岸は12~13°C台。
- ・三陸沖で親潮第2分枝の10°C先端が41° N付近まで北退したものの、12~14°Cの冷水が143° E以西の岩手県から宮城県沿岸を南下。このため、牡鹿半島以北の岩手県南部、宮城北部沿岸は昇温が停止している。
- ・平年水温と比較すると、35° N以北の東北沿岸海域では150° E付近の親潮南下域を除き、0~4°C高めとなっている。

・定地海洋観測結果(°C)



観測点	6月上旬		平年差	前年差
岩井崎	15.9	(高め)	+2.1	+1.7
江島	13.6	(平年並み)	+0.6	-0.5
佐須浜	18.8	(高め)	+1.7	+2.5
桂島	20.5	-	-	-

※歌津と田代島は自動観測装置による観測を中断しています。

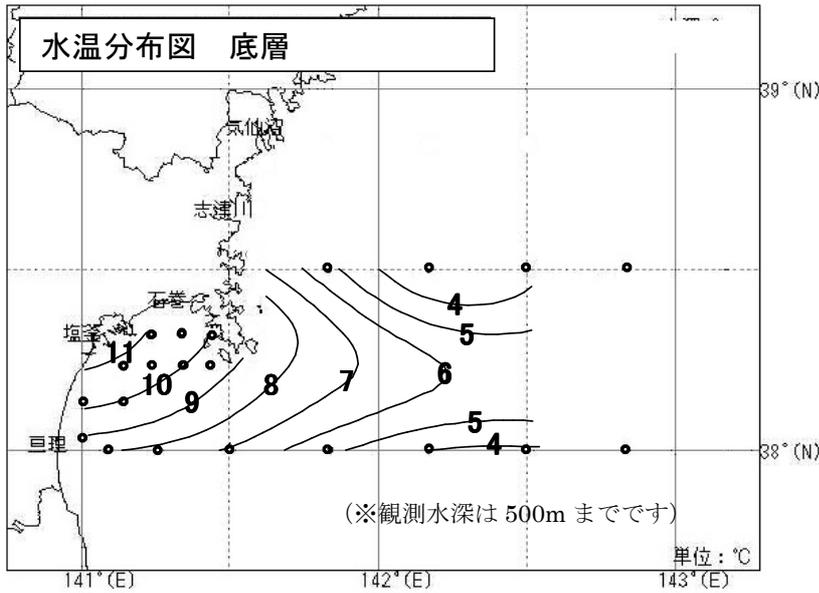
※平年差 岩井崎、江島 (30年)

佐須浜 (10年)

桂島 (平成24年2月から観測開始)

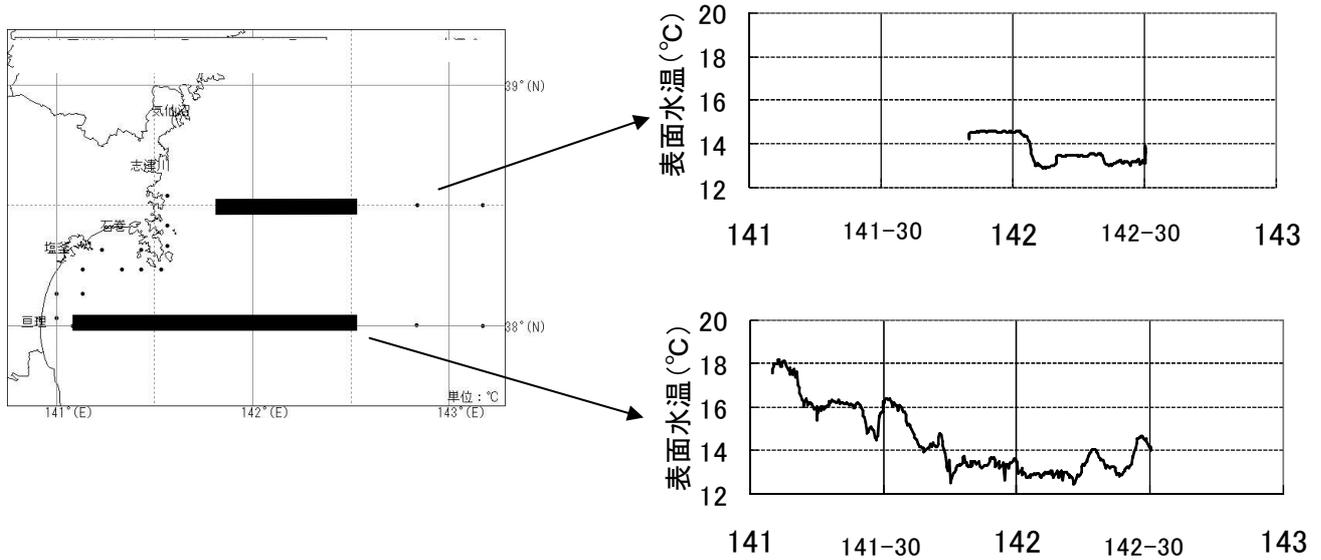
・底層水温図

・底層水温(2012年6月5日～6日)



2. 表層水温情報

拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。38° N ラインでは 141° 30' E 以東で水温が低下しています。



3. 調査船運航計画

拓 洋 丸	
6 月 11 日 ~ 15 日	イカ類漁場一斉調査
6 月 18 日 ~ 20 日	タラ類新規加入量調査

翠 皓(東北大学から借用)	
6 月 12 日	仙台湾定期水質調査
6 月 14 日	マアナゴレプト調査